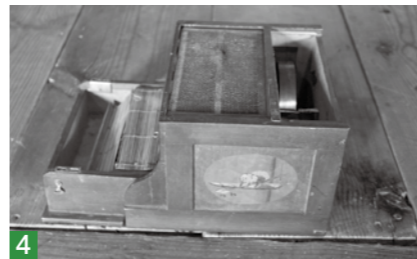
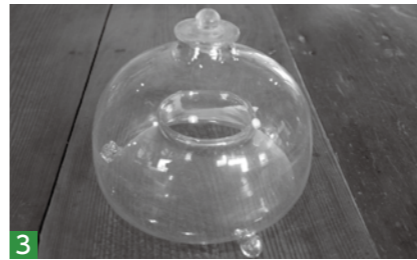


国道288号を入り、船引郵便局や御前池公園の前を通っていくと、資料館の案内表示があり、二股の道を右に進むとすぐ、茅葺き屋根の建物が見えます。江戸時代後期の農家住宅を、1976（昭和51）年に曳家工事により移築し、歴史民俗資料館として昔の人々が生活の中で生み出し、使ってきた道具（民具）を展示しています。展示している民具は市民の皆さんから寄贈されたものです。衣食住、生産産業、信仰などに関する民具には、私たちの祖先の知恵が詰まっています。今ではあまり見られなくなった昔の道具に触れ、その仕組みと知恵を感じて、特に社会科見学で訪れる小学生たちは驚きます。

生き物「ハエ」。現在のような公衆衛生が未整備で、馬や牛などを飼う家が多くあった昔は、ハエはもつと身近な存在でした。家畜やそのフンなどにたかっては、家に入ってきて、食べ物にまでたかる嫌われもので、撃退するためにいろいろな道具が工夫されました。

蓋が付き、底部は中央が内側に湾曲して立ち上がり、大きな穴が開いています。また短い脚が3つついていて、置く隙間ができるようになっていきます。底部の溝に米のとぎ汁を入れ、下に皿や紙を置いて砂糖などを載せておくと、ハエが寄ってきて中に入り、出口を探しているうちに溝に落ちて溺れ死んでしまいます。

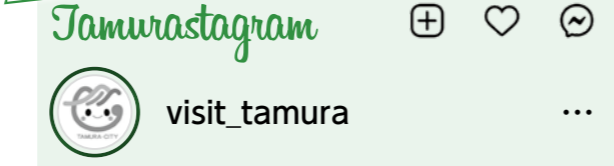
のような外観をしています。巻きすに酒や酢に砂糖を混ぜたものを塗り、その匂いに誘われたハエがとまっているうちに、ゼンマイ仕掛けの巻きすがゆっくり回転し、ハエが気づかないまま箱の下に閉じ込められ、中の網目の箱に入らなくなって出られなくなるという仕組みです。あとはその網目の箱を水につければハエは溺れ死んでしまいます。中には飼育用のカジカカエルの餌用に生きたままのハエを捕らえる道具として購入する人たちもいたようです。



- 場所 船引町船引字四城内前196
 - 開館時間 午前9時～午後5時
 - 休館日 月・火曜日
※祝日が月曜日の場合は翌々日、火曜日の場合は翌日
 - 入館料 無料
- ◎資料館庭園内に戦没者の遺品を展示した「平和祈念資料展示室」があります。開館時間等は資料館と同様です。

- 1 現在の歴史民俗資料館
- 2 昭和50年ごろの資料館周辺
- 3 ガラス製ハエ取器
- 4 ゼンマイ仕掛けのハエ取器

今回は「神木」を紹介する予定です。田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



いいね! : tamulove072117、他
#田村市キャンペーンクルー
#散歩 #自然 #楽しむ心... 続きを読む

※写真：さくらウオーク（4月16日開催）で参加者と一緒にウオーキングを楽しむ村越さん

フォローしてね！市公式！
Instagram (インスタグラム)
市の魅力や観光情報をキャンペーンクルーと共にお届けします。
問産業部 観光交流課 ☎81-2136



皆 #田村市キャンペーンクルー #散歩 #自然 #楽しむ心 #愛でる心 #片曾根山
さんこんにちは。キャンペーンクルーの村越芽生です。

私は普段田村市で田舎を満喫しているなあと感じる事が多々あります。そこで今回、私のとある1日の過ごし方を書きます。

早起きが得意じゃない私は、鳥の鳴き声する頃に起きます。目覚ましの音はどれだけ小さくても不快なのに対して、鳥の鳴き声はもう一度眠りに誘う心地良さがあります。大きな窓から見る外の景色は毎日違って見えます。春は山の所々がピンク色に染まり、夏になれば元気に育った青々しい稲穂が、風に揺られています。風って形として見る事は不可能で、木々が揺れるのを見て風の強さを感じ取るくらいですが、田んぼの稲穂が揺れた時、風の形がはつきりと分かるん

です。今どこに風が吹いて、どんなスピードなのか、全て分かるのが不思議で私はこの景色が大好きです。

散歩をする時、必ず自然を意識するようにしています。自然の香りは季節によって全く違いますよね。春の終わりを感ずる新緑の爽やかな香りから、夏になりぐんぐんと育った草木の少し青臭いような香りへ。やはり夏へ変化するこの時期が私は大好きです。

4月は菜の花が、そしてこれからツツジやラベンダーなど色とりどりの花が順を追って季節の晴れ舞台を飾ります。自然を楽しむ心はちょっとだけ忙しい毎日之余裕を生んでくれて、自然を愛でる心があることにも感謝したいと思えてきます。

ガラスと窓を開け、部屋の掃除をしたあと40年ほど続く喫茶店へトーストを食べに行きます。コーヒーマグが苦手な私は丸いアイスクリームがコロンッと浮かぶ甘いクリー

ムソーダを頼みます。ランチの忙しい時間の前に行き、いつも少しずつ読み進めている本を店内で流れるジャズを聴きながら読みます。

落ち込んだ日は片曾根山の頂上まで車を走らせます。ここは船引町を一望できるので、自分の悩み事がちっぽけに思えてきます。

帰りには古民家の歴史民俗資料館に寄っておじちゃんとお喋りをします。いつも温かく迎えてくださり、昔の洋風でオシャレな花瓶のようなハエ取器や昔の蓄音機などを見せてもらいました。ここは時間がゆっくり過ぎるので話しているとあっという間に2時間くらい過ぎます。日が暮れる頃にはリフレッシュできて、明日も頑張ろう！と、思えます。

なんてことない日常も五感で季節を感じたり、ゆったりとした時の流れに身を任せてみるとそれは都会では味わえない非日常なんです。そんな田村市が大好きです。

広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ